

第8回 小学校再編に関する地域住民説明会（新開小学校区） 概要

- 日 時 : 平成30年8月3日（金） 19時開始
- 場 所 : 新開小学校 3階 図書室
- 参 加 者 : 25名
- 教育委員会 : 吉岡教育長 他8名
(事務局)
- 内 容 : 1. 開 会
2. 教育長あいさつ
3. 教育委員会職員紹介
4. 配布資料確認
5. 説 明
① 小学校再編に向けて
② 小松島市立学校再編基本計画（案）
③ 学校施設の利活用
6. 質疑・応答（意見交換）
7. 閉 会

地域・保護者等から出された主な意見と回答

○皆さんがお座りの椅子の背もたれに貼っている「具体的な再編（案）について」は一步踏み込んだ内容で、「基本計画」策定後の「実施計画」の話になってくると思うが、「3校程度」という話が出た。例えば今現在の松中校区の方では、松中校区の方で1つの小学校、現在の小松島南中学校の方で1つの小学校、地域で言えば「1小1中」という形。よく郡部の田舎の方に行くとこの方式が見られたりする。「1小1中」になった時のメリットやデメリットにはどんなものがあると教育委員会は考えているのか。

→（回答）

全国的な例で見るといろんなケースがあり、ケースによってさまざまなメリット・デメリットが出てこようかと思う。あくまでも現時点での一般論でしか申し上げることができないが、「小中連携」「小中一貫」ということがまず挙げられる。一般的にはよく言う「中1ギャップ」。小学校よりは中学校の方が多人数なので環境の変化が出てくる。そういったことを少しでも解消するよう、小学校の段階から中学校との連携を図ることや教育課程においても中学校に上がるための準備を特定の中学校と連携を図りながら行うといったことが十分あるかと。ただ、近くにあるから小中連携できるかと言えばそうでもなく、連携のための推進計画なりを改めてまた策定する必要も出てこようかと思う。

現時点でも中学校2校と小学校11校があるわけで、決して連携を図っていないわけではないが、小学校2校に対し中学校1校で連携しているケースや、当然今おっしゃっていたような、小学校1校と中学校1校とで連携しているケースなどいろんなケースがある。最終的には、小学校が何校になるのかも含めて、少なくとも「連携はできる」と。小学校が3校でも4校でも。小学校が仮に4校に対し中学校2校でも当然連携は図っていけるということで、お互いの数が少なくなることによって改めてそういった連携の推進計画をまた考えていく必要があるということで、今の段階では具体的に色々なケースが想定されるが、そういった推進計画の中でより結びつきを強くしていくことは、小学生もしくは中学生にとっても非常に良い事なのかなと考えている。

○完成時期は平成42年度ということだが、例えば3校を同時に完成させるのか。それとも児童数の減少率が高い地域については5年先・6年先に完成してもいいんじゃないか。

→ (回答)

計画期間については前(スクリーン)の表にもあるように、「2030年度の完了」という形になるので、当然、学校数によって施設更新も含めて新しい学校を作っていかなければならない。一発にとというのは現実的にも難しいので、そういったことを踏まえて、学校再編計画の「再編」が「2030年度の完了を目途」にしているということで、当然この中にいろんな開校時期とか、そういったことを実施計画でお示しすることになるかと思う。

○個人の意見としてこういった再編は仕方がないというか、もちろん、人口、特に子どもの数が減っていることに関しての施策どうこうという話はとりあえず置いておいて、現状のこの数字だけを見ると、校区が非常に広域化するというのは受け入れないといけない、というようには私自身は思っている。で、その中での「通学支援」「スクールバス」というところで、子どもの通学に関してはやはり親からすると非常に不安なところがある。ちょっと遠くだとバスで体力的な低下というのもすごく今最近問題になっているので、心配される方もいろいろ賛否があると思う。その中でこういった「通学支援」をしている他市町村の前例など、もし今の「通学支援します」というのとプラスアルファでそういうお話がもしあれば教えていただきたい。

→ (回答)

「基本計画」の中で「通学支援」に関する考え方をお示しさせていただいており、「運行ルート」「乗降場所」「便数」「運航時刻」をこれから決めていきましょう、もしくは準備委員会とかそういった中でいろいろ決めていきましょう、といった話をさせていただいた。それは何故かと言うと、当然、場所が決まらなければ通学支援の方法もないため。皆さま方も御存知と思うが、小松島市内には路線バスがいろいろと走っている。大きく広い道についてはそういった公共交通機関がまず前提条件としてある。それと、そういった状況の中で学校再編後の場所はどこになるかといったこと。それと、2km～3kmを超える場合は支援を考え

ていくという考え方がある中で、こういったスクールバスが考えられるのかをまず基本に考えていかなければならない、といったようなこともある。そういった状況の中で学校再編の事例については、他市町村でも多分いろいろあり、小松島のように路線バスが走っている場合での再編のケース、もしくはそれも踏まえたスクールバスというところもあろうかと思うので、今現状こういった形が最も良いのか悪いのかなどの議論については、これから検討していかなければならない。現状では「これがベストですよ」「ベターですよ」というところまでは至っていない。